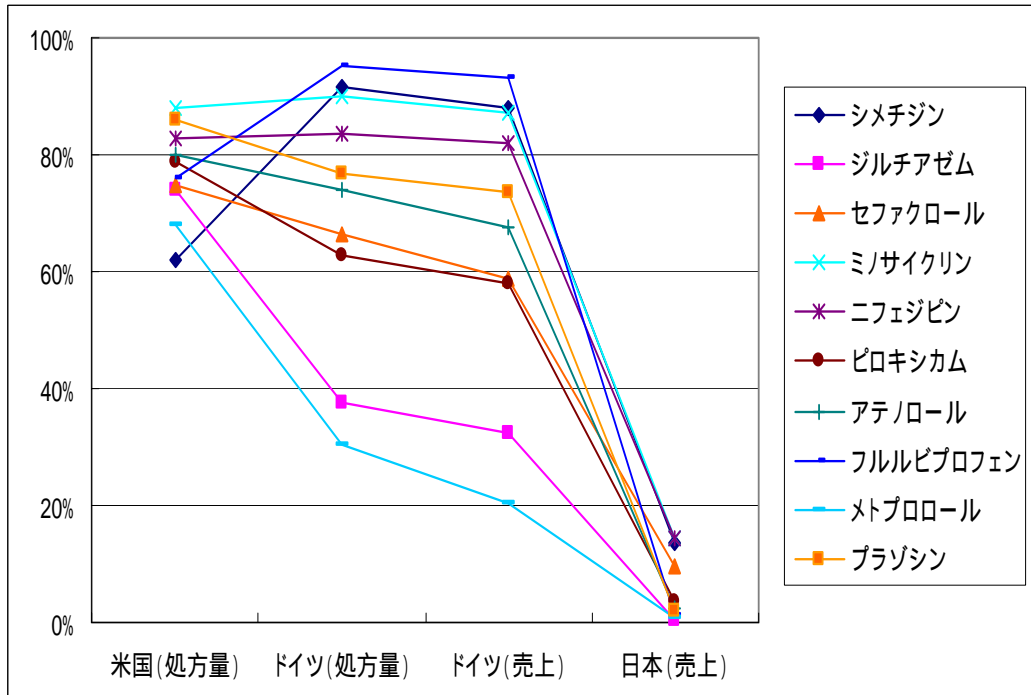


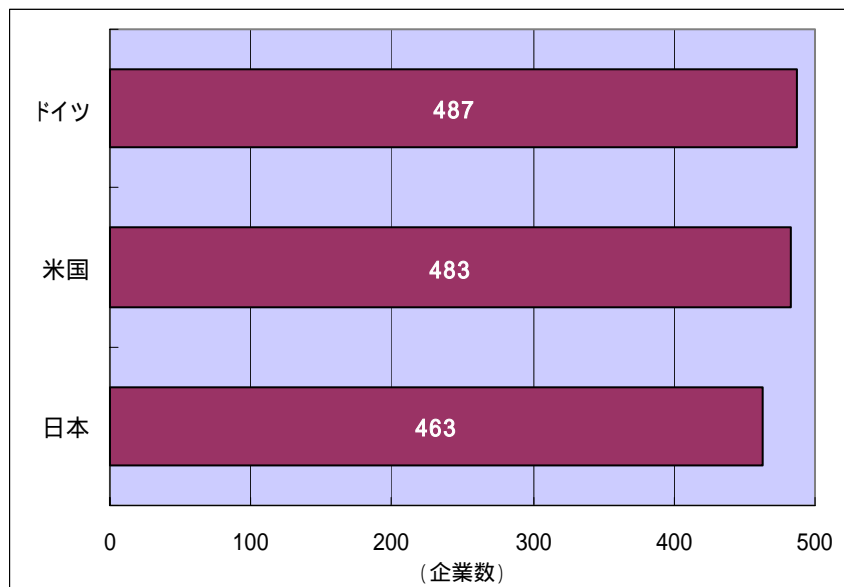
15. ジェネリックの成分別市場シェア



注 シメチジン：消化性潰瘍用剤、ジルチアゼム：血管拡張剤、セファクロール：抗生物質、ミノサイクリン：抗生物質、ニフェジピン：血管拡張剤、ピロキシカム：消炎鎮痛剤、アテノロール：不整脈用剤、フルルビプロフェン：消炎鎮痛剤、メトプロロール：血圧降下剤、プラゾシン：血圧降下剤

日本製薬工業協会医薬産業政策研究所「我が国の製薬産業」

16. 薬価収載企業数

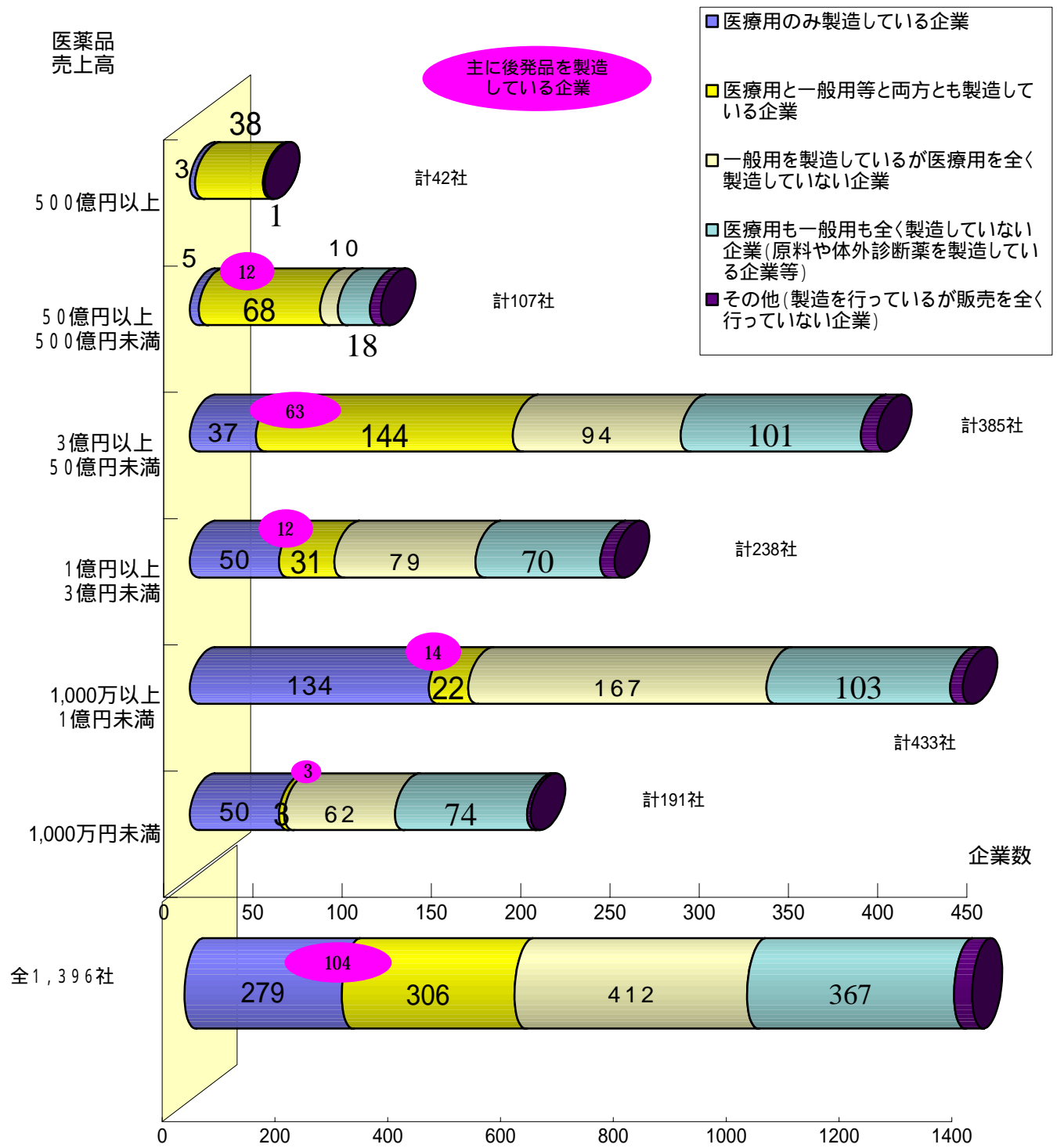


(出所) 日本：「DATA BOOK 2000」、米国：「READY PRICE1999」、ドイツ：「ROTE LISTE 1999」

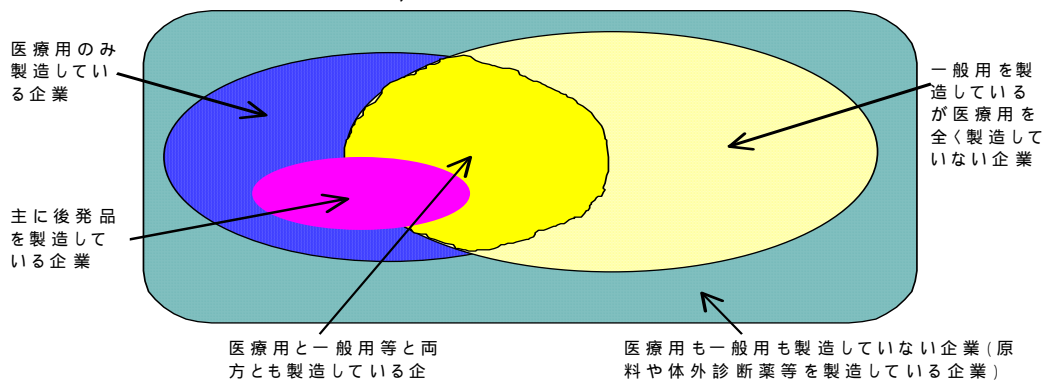
日本製薬工業協会医薬産業政策研究所「我が国の製薬産業」

注) 日本の薬価収載製造事業者数は、現在「保険薬事典 株式会社じほう(平成14年4月版)」によると432社。

17. 医薬品産業の構造

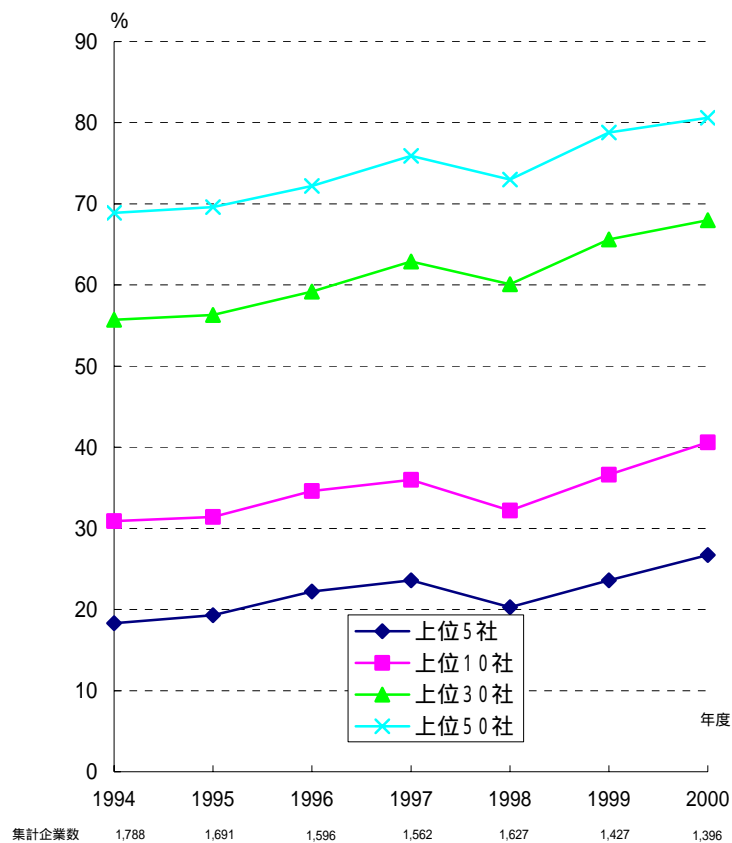


全1,396社の分布イメージ



18. 医薬品産業の集中度

(1) 医薬品売上高



(2) 医療用医薬品売上高(2000年度)

上位5社	28.8%
上位10社	43.7%
上位30社	73.0%
上位50社	86.8%

集計企業数 1,396

厚生労働省「医薬品産業実態調査」

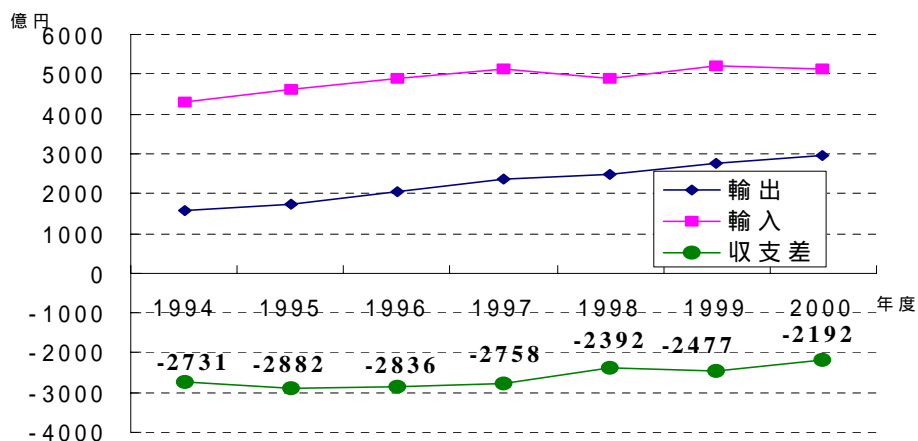
19. 全就業者に占める医薬品関係従業者数の割合(2000年)

<単位:万人>

全就業者数	6,446
医薬品製造業	21.0(0.3%)
医薬品卸売業	6.3(0.1%)
計	27.3(0.4%)

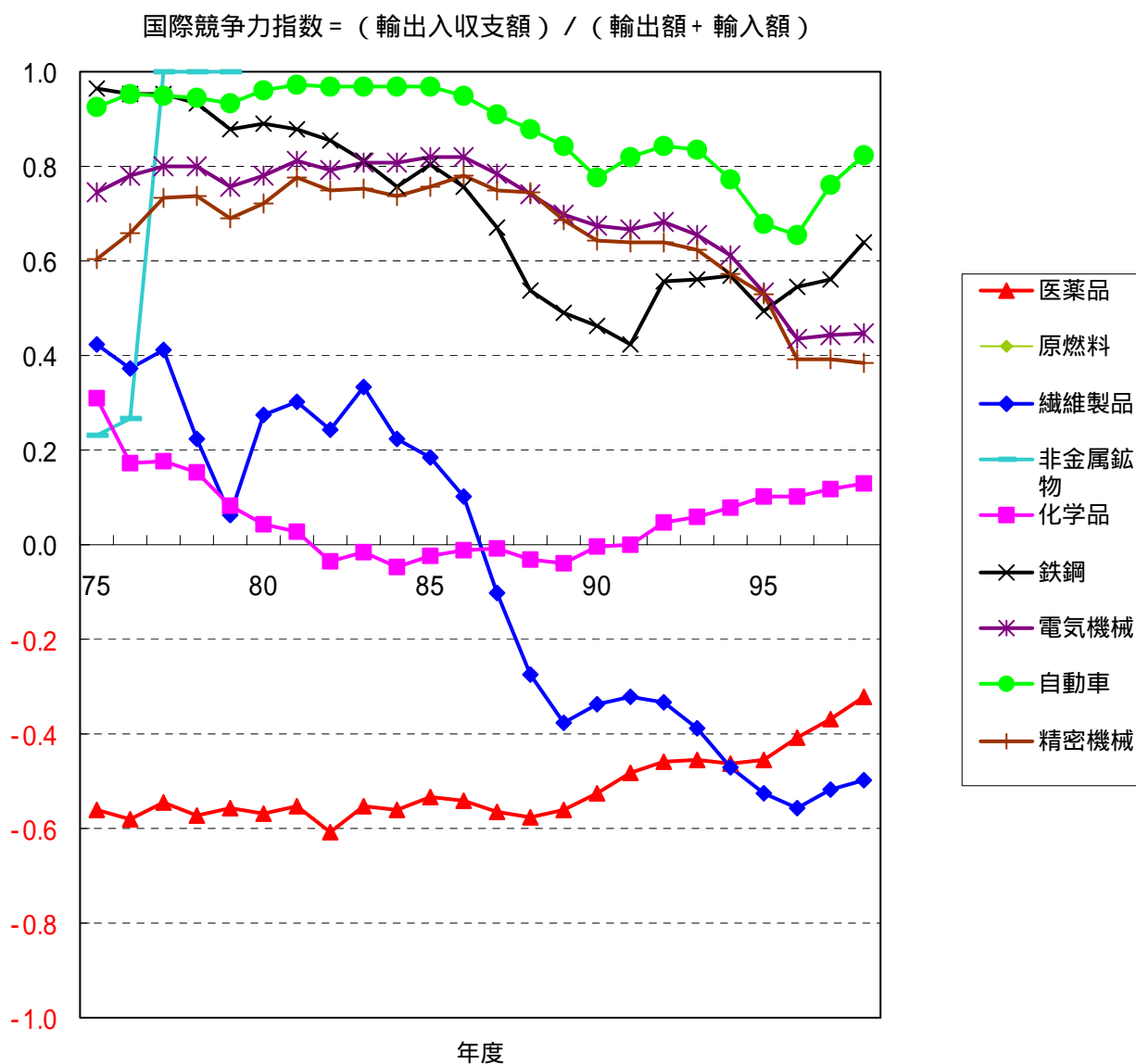
集計企業数 製薬企業 398社(医薬品売上高3億円以上) / 卸売業 128社
総務庁「労働力調査年報」、厚生労働省「医薬品産業実態調査」

20. 医薬品の貿易収支の推移



経済産業省「通商白書」

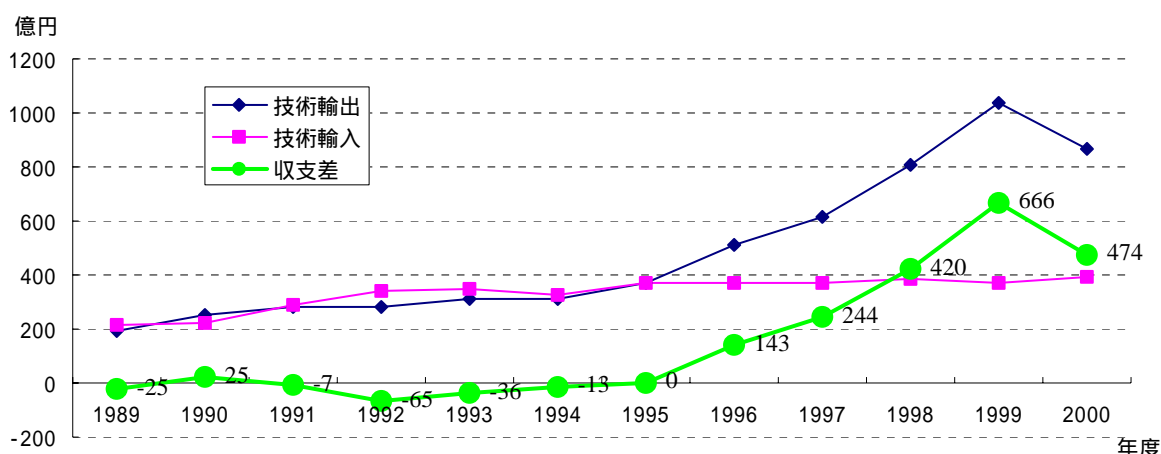
21. 国際競争力指数 (産業間比較)



(出所)「通商白書」より作成 注)「繊維製品」の輸出額は「繊維品総計」から「繊維原料」を差し引いて産出した。
大蔵省貿易統計の商品分類コード(HSコード)変更は、結論に影響しないため無視している。

日本製薬工業協会医薬産業政策研究所「我が国の製薬産業」

2.2. 医薬品の技術導出入（技術貿易）の推移



技術貿易：諸外国との特許、ノウハウなどの技術の提供、受入れ

総務省「科学技術研究調査報告」

2.3. 2001年医薬品世界売上ベスト30

順位	ブランド名	一般名	薬効・薬理	メーカー名	百万ドル 2001 売上	% 前期比
1	ゾコール(ゾバス)	シンバスタチン	高脂血症薬	メルク	6,670	26
2	リビートル	アトルバスタチン	高脂血症薬	ファイザー	6,449	28
3	オメプラール/プリロセック	オメプラゾール	抗潰瘍剤 PPI	アストラゼネカ	5,684	-7
4	ノルバスク	アムロジピン	降圧剤 Ca拮抗剤	ファイザー	3,582	7
5	メパロチン/ブラバコール	ブラバスタチン	高脂血症薬	三共/BMS	3,509	5
6	プロクリット/エブレッタ	エゴエチンアルファ	腎性貧血	ジョンソン&ジョンソン	3,430	27
7	タケプロン	ランソプラゾール	抗潰瘍剤 PPI	武田薬品/TAP	3,212	25
8	クラリチン/D	ロラタジン	抗ヒスタミン剤	シュering・プラウ	3,159	5
9	セレブレッタ	セレコキシブ	Cox2 阻害剤	ファルマシア	3,114	19
10	ジブレキサ	オランザピン	精神分裂病薬	イーライ・リリー	3,087	31
11	グルコファージ	メトフォルミン	糖尿病薬	独メルク/BMS	2,682	55
12	セロクサット/パキシル	パロキセチン	抗うつ剤 SSRI	グラクソ・スミスクライン	2,674	16
13	バイオックス	ロフェコキシブ	Cox2 阻害剤	メルク	2,555	18
14	ゾロフト	セルトラリン	抗うつ剤 SSRI	ファイザー	2,366	11
15	エボジェン(エスポー)	エゴエチンアルファ	腎性貧血	アムジェン	2,150	10
16	ブレマリン/ブレンプロ	エストロゲン製剤	更年期障害他	ワイス(AHP)	2,073	11
17	オーグメンチン	アモキシシリン他	抗生物質	グラクソ・スミスクライン	2,046	13
18	プロザック	塩酸フルオキセチン	抗うつ剤 SSRI	イーライ・リリー	1,990	-23
19	ブラビックス	クロピドグレル	抗血小板薬	サノフィS/BMS	1,975	50
20	コザール/ハイザール	ロサルタン	降圧剤 AIIIRB	メルク	1,905	11
21	リスパダール	リスペリドン	精神分裂病薬	ジョンソン&ジョンソン	1,845	15
22	ジルテック	セチリジン	抗ヒスタミン剤	UCB/ファイザー/第一	1,837	24
23	フォサマックス	アレンドロン酸ナトリウム	骨粗鬆症薬	メルク	1,760	38
24	ニューロンチン	ガバペンチン	抗てんかん薬	ファイザー	1,751	31
25	ジプロ(ジプロキサ)	シプロフロキサシン	合成抗菌剤	バイエル	1,740	10
26	セレкса/シプラミル	シタロプラム	抗うつ剤 SSRI	ルンドベック/フォレスト	1,716	44
27	アンビエン/マイスリー	ゾルピデム	睡眠薬	サノフィS/ファルマシア/藤沢	1,642	30
28	クラビット/リーバキン	レボフロキサシン	合成抗菌剤	第一/J&J/アベンティス	1,632	1
29	アレグラ	フェキソフェナジン	抗ヒスタミン剤	アベンティス	1,561	49
30	エフェクソール/XR	ベンラファキシン	抗うつ剤 SNRI	ワイス(AHP)	1,542	33

一般名に色をつけたものは日本オリジンのもの 為替レートは全て2001年12月末

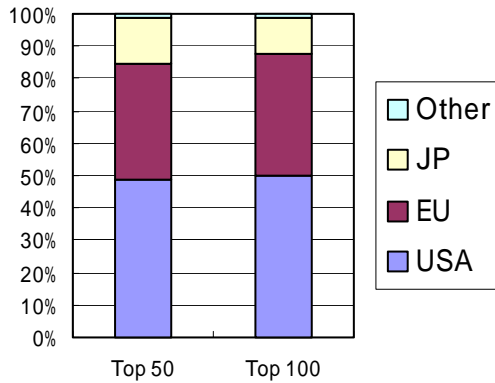
日本のメーカーの製品は2002年3月期、その他は2001年12月期の売上 カッコ内は日本名

順位に色をつけたものは日本未販売(クラリチンは2002年7月承認) 伸び率はメーカーの本国通貨に基づく

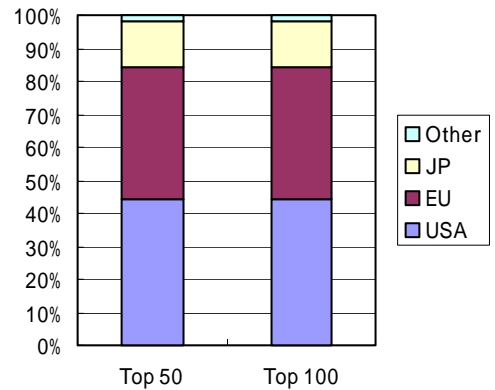
出典：ユート プレーン(ファルマ・フューチャー2002 NO.136)

2.4. 世界市場におけるマーケットシェア（成分）

世界市場におけるマーケットシェア 1998（オリジン）



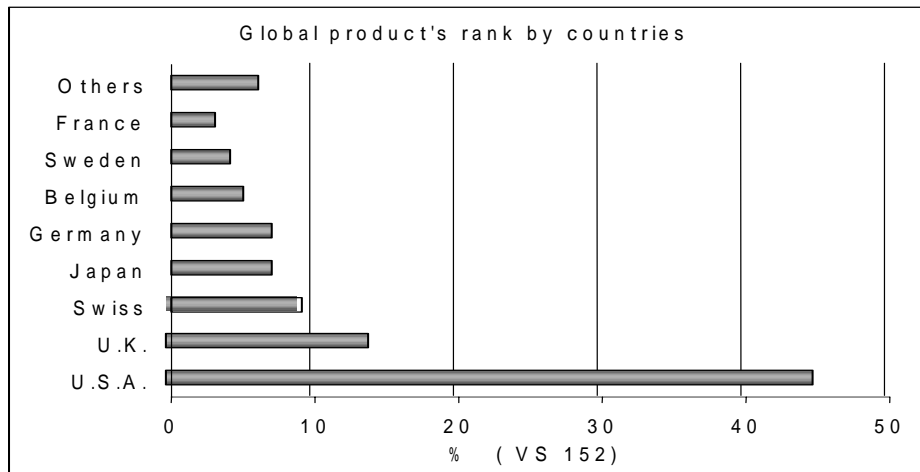
世界市場における成分のシェア 1998（オリジン）



（出所）Med Ad News Vol.18 No.5 1999 Engel Publishing Partners, a Euromoney Company

日本製薬工業協会医薬産業政策研究所「我が国の製薬産業」

2.5. 国際的新薬の国別シェア

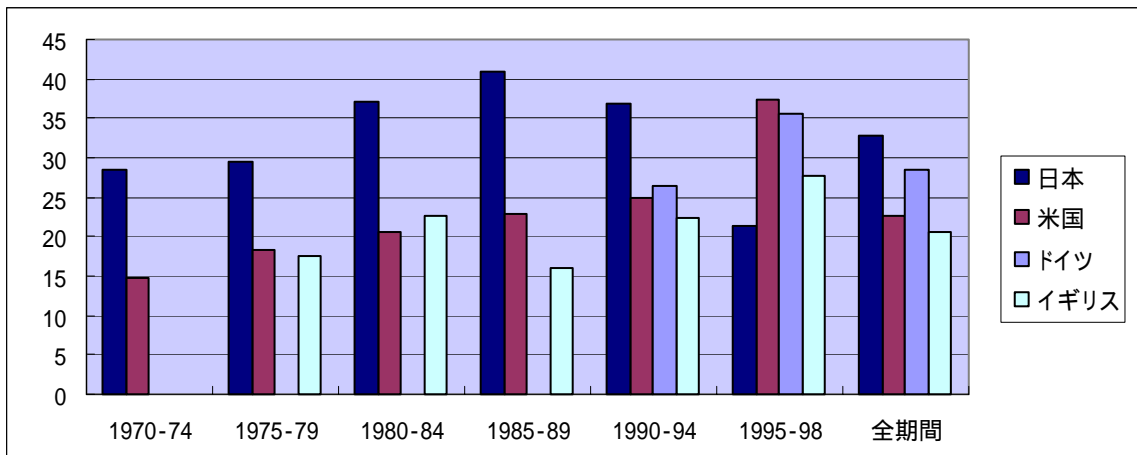


出典： Barral, P.E., 20 Years of Pharmaceutical Research Results Throughout the World, Rhone-Poulenc Rorer Foundation.

「国際的新薬」= 画期性の高い新薬を医薬品に関する先進7カ国（Pharma7：アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スウェーデン及び日本）全てで上市されている化合物と定義

日本製薬工業協会医薬産業政策研究所「我が国の製薬産業」

2.6 . 1970 年以降の年間平均 N C E 数比較



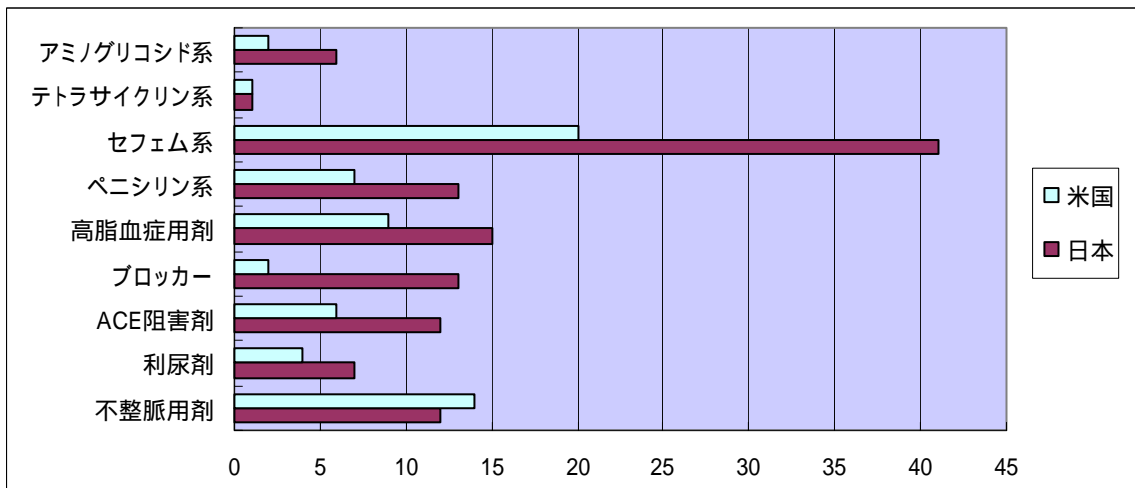
(出所) 日本: 「新薬承認申請ハンドブック」、米国: Center for Drug Evaluation and Research WWW page、「Offices of Drug Evaluation Statistics Report,1993」より作成

ドイツ: 「VFA Statistics'99」、イギリス「ABPI PHARMA Facts & Figures」、IFPMA資料

注) 米国のNCE数はCenter for Biologics Evaluation and Research の承認薬を含まない。日本のNCE数から生物学的製剤数を差し引いても、米国との関係に大きな変化がないことは確認してある。

日本製薬工業協会医薬産業政策研究所「我が国の製薬産業」

2.7 . 1970 年以降の N C E 数比較 (薬効小分類別)

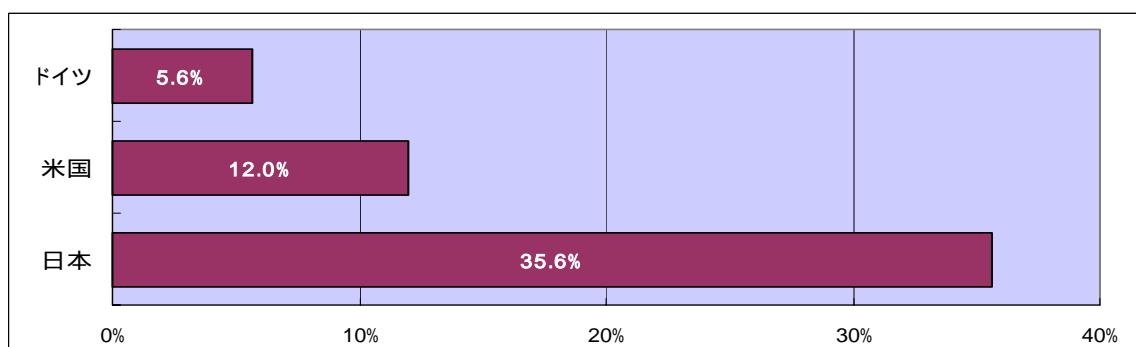


(出所) 同上資料より作成

注) 米国のNCE数は薬効の特定できた557成分(全NCE数の85%)を対象としている。

日本製薬工業協会医薬産業政策研究所「我が国の製薬産業」

2.8 . NCE が自国のみで販売されている割合



(出所) 日本: 「新薬承認申請ハンドブック」、米国: Center for Drug Evaluation and Research

WWW page、「Offices of Drug Evaluation Statistics Report,1993」より作成、ドイツ: IFPMA資料

注) 3ヶ国とも上市国の確認できたNCE(ともに全体の8割以上)を母数としている。

日本製薬工業協会医薬産業政策研究所「我が国の製薬産業」